

緊急報告・討論会 東日本大震災の 地域商業への影響と復興の展望

東日本大震災は被災地の商店街をはじめとする地域商業に壊滅的ともいえる大きなダメージを与えました。しかし、地域コミュニティにおける人と人との絆や、コミュニティ同士の相互支援によって、一步一步復旧・復興の道を歩み始めているのも事実です。そこで本報告・討論会では、被災地の地域商業の現状を知るとともに、復旧・復興に向けてどのような地域のニーズがあるのか、いかなる支援が求められているのか、今後私たちに何ができるのか、といったことについて検討していきます。ふるってご参加いただけますようお願い申し上げます。

日 時：平成23年6月2日 午後3時～5時

会 場：専修大学神田キャンパス 1号館地下1階14教室
水道橋駅(JR)西口より徒歩7分、九段下駅(地下鉄／東西線、都営新宿線、半蔵門線)出口5より徒歩3分、神保町駅(地下鉄／都営三田線、都営新宿線、半蔵門線)出口A2より徒歩3分

入 場：無料

申 込：お申込みはメールにてお願いいたします。お名前、所属をお知らせください。

こちらへ⇒kondo@syoutengai-shien.com

会場案内図



【プログラム】

1. 開会あいさつ
渡辺達朗 専修大学商学研究所長
2. 株式会社全国商店街支援センター挨拶
藤田とし子 JSS事業統括役
3. 被災地の地域商業の現状:現地視察報告
木村旬也 JSS事業統括役補佐
春名芳郎 JSSマネージャー
4. 商店街支援センターの復興支援事業について
木村旬也 JSS事業統括役補佐
5. 神奈川における被災地の農商工支援の事例
鈴木博明 氏 神奈川県商工労働局
産業部商業流通課商業まちづくりグループ
6. パネルディスカッション:「復興の展望と支援の方向」
パネリスト
石原武政 氏
流通科学大学特別教授・大阪市立大学名誉教授
鈴木博明 氏
神奈川県商工労働局産業部
藤田とし子 JSS事業統括役
モデレータ
渡辺達朗 専修大学商学研究所長



街いきいき！がんばる元気、応援します。

株式会社

全国商店街支援センター



社会知性の開発をめざす

専修大学

主催：株式会社全国商店街支援センター / 専修大学商学研究所

全国商店街支援センターとは：

商店街は、地域コミュニティを担う重要な存在といえます。地域に根ざし、地域住民の憩い・交流を促す「にぎわいの場」でもある商店街は、子育てや高齢者の生活を支えるなど、住民の方々のニーズに応じた活動を行うことで、生活の利便性を向上させるとともに、地域コミュニティを維持・発展させることが期待されています。しかし、少子高齢化やライフスタイルの変化などに伴う消費者ニーズの多様化、空き店舗の増加や後継者不足、来街者の減少といった厳しい現実と直面しています。そこで、このような状況を打開すべく、商店街・商業者の皆さんに対して、これまでにないきめ細かい支援を行う組織として、**経済産業省中小企業庁**をはじめ関係省庁の支援を受けつつ、中小企業関係4団体（**全国商工会連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、全国商店街振興組合連合会**）で平成21年4月、全国商店街支援センターを設立し、様々な活性化支援事業を行っています。



専修大学商学研究所とは：

商学の研究・教育を目的として1965年に設立され、まもなく50年の歴史を迎えます。現在、所員数は専修大学の専任教員を中心に80名を超え、専門分野はマーケティング、流通、金融、情報、経営学、経済学など多岐にわたっています。各分野の基礎的な研究はもちろんのこと、現代社会が求める研究テーマに対し多様なアプローチ、ディンプリンに基づいて、さまざまな研究に取り組んでいます。



【講師およびパネリスト紹介】

- | | |
|--------------|---|
| 石原武政 | 流通科学大学特別教授・大阪市立大学名誉教授
大阪市立大学商学部を退職後、関西学院大学商学部を経て、2011年4月より現職。阪神淡路大震災時にも、被災地小売業を調査し、復興への提案・助言を行った。全国商店街支援センター支援事業諮問委員会委員長を務める。これまで中小企業政策審議会商業部会長など公職多数を歴任。 |
| 渡辺達朗 | 専修大学商学研究所所長・商学部教授
全国商店街支援センター支援事業諮問委員会委員を務める。これまで中小企業政策審議会商業部会委員、関東経済産業局地域商店街活性化法認定評価委員会委員長などを歴任。 |
| 鈴木博明 | 神奈川県商工労働局産業部 商業流通課商業まちづくりグループ
行政としての商業・商店街活性化の分野でなすべきことは、既存の商店街を超えたネットワーク作りを促すことに尽きるという信念のもと、県内各地域で、地域に密着した強いグループ（絆）作りに取り組んでいる。現在は県内外の商業者による、福島原発の風評被害商品の情報提供・支援、応援物産市の開催、商業者による炊き出しなどの動きのネットワーク作りに尽力している。 |
| 藤田とし子 | 株式会社全国商店街支援センター 事業統括役
大手流通業勤務後、子育ての傍ら地元紙でライターとして活動したのがきっかけで、商店街やまちづくりにかかわる。平成22年4月から現職。 |
| 木村旬也 | 株式会社全国商店街支援センター 事業統括役補佐 |
| 春名芳郎 | 株式会社全国商店街支援センター 支援事業担当マネージャー |